サポート情報記事

Microsoft Teams に My Tasks を追加する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

前提条件 4

アプリを **Teams** で利用できるようにする 5

My Tasks を個人用アプリとして追加する 5

My Tasks をチャネルのタブとして追加する 6

Teams でタスクが読み込まれない場合 7

テーマとモバイル 7

用語 9

はじめに

多くの従業員は、イントラネットよりも **Microsoft Teams** で一日の大半を過ごしています。Vitextra My Tasks は Teams アプリとして提供されるため、個人のタスク一覧 (Planner、To Do、フラグ付きメール、**SharePoint** とプロジェクトのタスク、**Azure DevOps** の作業項目) を、ふだん作業している場所に置くことができます。Teams のサイドバーに**個人用アプリ**として追加することも、チームのチャネルに**タブ**として追加することもできます。一覧、フィルター、**期限**クイック フィルター、詳細パネル、エクスポートは、SharePoint ページと同じです。

この記事では、アプリを Teams で利用できるようにする手順、個人用アプリまたはチャネルのタブとして追加する手順、タスクが読み込まれることを確認する方法を説明します。My Tasks のパッケージが、すでにテナントのアプリ カタログに展開されていることを前提としています。

警告

Teams 上の My Tasks は、SharePoint ページで動作するものと同じ SharePoint Framework ソリューションです。アプリを Teams で使用するには、次の 3 つが必要です。(1) SharePoint アプリ (`vitextra.my-tasks.sppkg`) がテナントのアプリ カタログにインストールされていること、(2) アプリが Teams に同期されているか、**Teams アプリ** パッケージがアップロードされていること、(3) パッケージが要求する API アクセス許可を、テナント管理者が SharePoint 管理センターの **詳細設定** → **API アクセス**で承認していること。承認がない場合、**Microsoft Graph** (Planner、To Do、Outlook) や Azure DevOps を必要とするソースはタスクを返しません。アクセス許可の一覧については、KB10303. My Tasks: 必要なアクセス許可、プライバシー、セキュリティを参照してください。

ヒント

製品がまだインストールされていない場合は、先に KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法と KB10289. My Tasks Web パーツを追加して構成する方法を参照してから、この記事に戻ってください。

前提条件

- アプリを Teams に同期するには、SharePoint アプリ カタログを管理する権限が必要です。通常は、**SharePoint 管理者**ロールが必要です。
- API アクセス許可を承認するには、SharePoint 管理センターで **詳細設定** → **API アクセス**を開けるテナント管理者である必要があります。
- 同期済みのアプリを個人用アプリとして追加するために、特別な権限は必要ありません。Teams 管理者が、組織向けに構築されたカスタム アプリを許可している限り、どのユーザーも Teams のアプリ ストアから追加できます。
- アプリをチャネルのタブとして追加するには、チームのメンバーである必要があります (チームの所有者がタブを追加できるユーザーを制限している場合もあります)。

アプリを Teams で利用できるようにする

1 Microsoft 365 管理センターを開き、**管理センター**の下にある **SharePoint** に移動します。
2 SharePoint 管理センターで **その他の機能**を選択し、**アプリ**の下にある**開く**をクリックして、**アプリ カタログ** → **SharePoint 用アプリ**に移動します。
3 一覧から **Vitextra My Tasks** パッケージを選択し、リボンの**ファイル**タブを開いて、**Teams に同期**をクリックします。

Successfully synced teams solution という通知が表示され、Teams アプリ パッケージが組織のアプリ ストアに公開されたことを確認できます。Teams アプリは SharePoint パッケージにリンクされているため、アプリ カタログにインストールした更新プログラムは Teams にも適用されます。詳しくは、KB10050. SharePoint Online で Vitextra SPFx ソリューションを更新する方法を参照してください。

> メモ
>
> 別の方法として、Teams 管理者が、Teams 管理センターの **Teams アプリ** → **アプリの管理** → **新しいアプリをアップロード**から、Teams アプリ パッケージを手動でアップロードすることもできます。パッケージは、製品に含まれる `TeamsSPFxApp.zip` ファイルです。**Teams に同期**ボタンを使用する方法のほうが簡単なため、こちらをお勧めします。

My Tasks を個人用アプリとして追加する

1 Microsoft Teams で、左側のサイドバーにある**アプリ**をクリックします。
2 カテゴリの一覧で**組織向けに構築**を選択します。ここには、自社のアプリ カタ

ログから同期されたアプリが表示されます。

3 Vitextra が公開している **My Tasks** のタイルを探してクリックします。

4 詳細ページで**追加**をクリックします (*チームに追加*ではありません)。

アプリが左側のサイドバーに表示されます。アプリを開くと、タスク一覧が表示されます。個人用アプリは、Teams のデスクトップ クライアントと Teams のモバイル アプリで利用できます。

ヒント

この方法で追加したアプリは、**追加**をクリックしたユーザーにだけ固定されます。すべてのユーザーのサイドバーに My Tasks を表示するには、Teams 管理者が、Teams 管理センターの**アプリ セットアップ ポリシー**を使用して、テナント全体に固定できます。

My Tasks をチャネルのタブとして追加する

1 一覧を配置するチームとチャネルを開き、上部のタブ バーにある **+** をクリックします。

2 アプリの一覧から **My Tasks** を探して (必要に応じて検索ボックスを使用)、選択します。

3 ダイアログで**追加** (または**保存**) をクリックします。Web パーツのプロパティ ウィンドウとともに、タブが開きます。

4 **データ ソース**グループでソースを選択します。たとえば、**Planner**、**To Do**、**Azure DevOps** (**組織**の名前を指定) などです。その他のオプションを設定して、プロパティ ウィンドウを閉じます。オプションは SharePoint ページと同じで、KB10289. My Tasks Web パーツを追加して構成する方法で説明しています。

タブは、個人用アプリや他のチャネルとは独立した、独自の設定を保持します。チームの所有者は、後からタブのメニューの**設定**で変更できます。

メモ

My Tasks は、個人用のビューです。タブを開いた各メンバーには、チームのタスクではなく、そのメンバー自身のコンテキストで読み込まれた自分のタスクだけが表示されます。タブで共有されるのは設定 (オンにするソース、列、行の制限) だけで、データは共有されません。ユーザーが選択したフィルターと並べ替えは、そのユーザーのブラウザーに記憶され、他のメンバーとは共有されません。

Teams でタスクが読み込まれない場合

まず、次の点を確認してください。

- **API アクセス。** テナント管理者が、パッケージのアクセス許可を SharePoint 管理センターで承認していること。Planner、To Do、Outlook には Microsoft Graph のアクセス許可が必要です。Azure DevOps には専用のアクセス許可が必要です。
- **ソース。** タブのプロパティ ウィンドウで、少なくとも 1 つのソースがオンになっていること。また、Azure DevOps の組織が正確に入力されていること。
- **フィルター。** フィルター アイコンが塗りつぶされておらず、期限がすべての日付になっていること。
- **ライセンス。** 試用版の期限が切れていないこと。期限が切れている場合、Web パーツは一覧の代わりにメッセージを表示します。

読み込みに失敗したソースは、何も表示されずにスキップされ、他のソースは引き続き表示されます。確認事項の一覧は、KB10307. My Tasks のタスクが表示されない、または読み込まれないのはなぜですか?を参照してください。

テーマとモバイル

My Tasks は、ホスト環境のテーマから色を取得するため、Teams のライト テーマとダーク テーマに合わせて表示されます。レイアウトはレスポンシブなので、幅の狭いチャネル タブやスマートフォンでも、一覧を見やすく表示できます。テーマ、フォント、言語の詳細については、KB10302. My Tasks: テーマ、フォント、対応言語を参照してください。

ヒント

Teams で一覧をひとまず確認したい場合は、個人用アプリとして追加します。開発チームの Azure DevOps など、チームにあらかじめ設定したソースのセットが必要な場合は、チャネルのタブを作成して、一度だけ構成します。ユーザー向けの簡単なガイドについては、KB10291. My Tasks: エンド ユーザー向けクイック ガイドを参照してください。

用語

Azure DevOps
Azure DevOps Services (旧称 Visual Studio Team Services) は、バージョン管理、要件管理、ビルドとリリースの自動化パイプライン、テスト機能を提供するクラウドベースの製品です。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Teams アプリ
Teams アプリは、タブ、ボット、メッセージ拡張機能、会議拡張機能などの機能で Microsoft Teams を拡張するアプリケーションです。Teams アプリは、Teams アプリ ストア、AppSource、または組織のカタログを通じて、アプリ パッケージとして配布されます。